

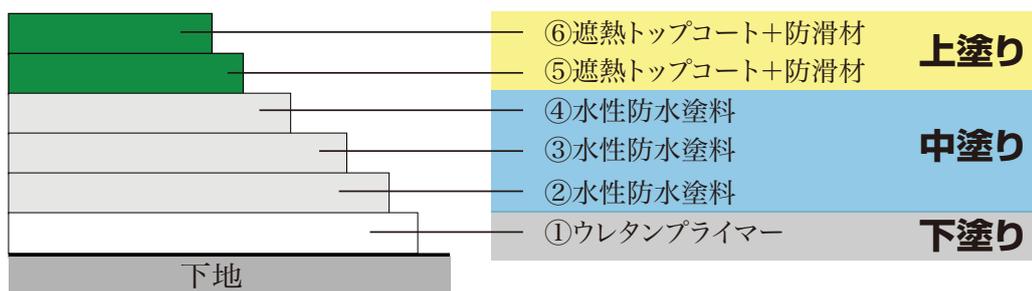
# 下地の種類：**ウレタン防水** 塗膜の場合

工程	塗料名	希釈	塗布量	塗布間隔 (23℃)
下地処理	下地処理	—	—	—
①下塗り	水性防水塗料専用ウレタンプライマー	無希釈	0.08~0.1kg/m <sup>2</sup>	1~6時間
②中塗り	水性防水塗料	無希釈	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	1時間
③中塗り	水性防水塗料	無希釈	0.35~0.45kg/m <sup>2</sup>	2時間
④中塗り	水性防水塗料	無希釈	0.35~0.45kg/m <sup>2</sup>	2時間
⑤上塗り	水性防水塗料専用遮熱トップコート+防滑材2%	無希釈	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> 0.003~0.004kg/m <sup>2</sup>	2時間
⑥上塗り	水性防水塗料専用遮熱トップコート+防滑材2%	無希釈	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> 0.003~0.004kg/m <sup>2</sup>	—



下地の種類毎に施工方法・使用する材料・仕様が異なります。下地に応じた仕様で施工を行ってください。

## 工程



## 使用する材料



## 施工上のポイント

- 〈塗装前の注意〉 …… ・既存のウレタン防水に異常(大きなクラック・ふくれ・はがれ)がある場合は塗装は行わず防水専門業者にご相談ください。シルバーペイント(アルミニウムペイント)の旧塗膜が残っている場合は、旧塗膜がしっかりと付着していることを確認の上塗装してください。
- 〈下地処理〉 …… ・表層の劣化部分をサンディング(サンドペーパー#20から#60)またはブラッシングなどで除去し、チョーキングや汚れがひどい箇所はシンナー拭きしてください。  
・小さなクラックはウレタンプライマー塗装後、シーリング材で埋めてください。  
・シーリング材は、速乾一液ウレタンシーリングのノンブリードタイプを使用してください。
- 〈下塗りの注意〉 …… ・ウレタンプライマー塗装後は必ず同日中に次の工程に進んでください。  
・ウレタンプライマーは、空気中の湿気(水分)と反応する湿気効果型塗料です。使用後は出来るだけ早く使い切ってください。
- 〈中塗りの注意〉 …… 1回目はあまり厚く付ける必要はありません。(図1)  
2回目・3回目は波模様が出来る位に厚く塗装します。(図2)



**雨水が浸入したり、漏水がある場合は塗装を行わず、防水専門業者にご相談ください**